

クロールピクリン土壌処理による煙草線虫病 防除について

田 中 勇

鹿兒島煙草試験場

Tanaka, I. Anexperiment on soil treatment with Chloropicrin for the defencce of tobacco root-knot nematode.

線虫病の發生の多い連作地で、クロールピクリンによる本圃定植位置の処理を行ひ、その効果を試験した。

土壌処理、煙草移植1週間前に麦間を耕耘整地し煙草定植位置(麦作から6~10寸隔てた位置)に直径1寸位の杭で5寸の深さに穿孔しクロールピクリン2cc宛滴下覆土をなし、1週間後慣行法により移植した。

試験結果

1. 土壌処理に要するクロールピクリンは、反当7.65kg(1kg入り8本)であつた。

2. 処理によつて深根性雑草を除き一般雑草の駆除が出来る。

3. 麦作表に対して、クロールピクリン注加の方法が誤つた場合、下葉1, 2枚が枯死する程度であるが、収量に対しての影響は目立たない。

4. 処理区は無処理区に比し、落病がおくれ、活着が早く生育極めて良好である(表I)。

5. 処理区は病害を軽減し(表II)、無処理区に比し60%前後の増収となつた(表III)。

第 I 表

試験区別	調査項目 幹丈 (cm)	最大葉		着葉数 (枚)
		葉長 (cm)	葉幅 (cm)	
無処理区	50.5	48.45	20.40	15.2
処理区	89.9	53.75	24.95	17.7

第 II 表

試験区別	調査項目 供試 株数	幹丈31cm 葉数9枚 以上	幹丈30cm 葉数9枚 以上	重症株 比率 (%)
無処理区	228	93	135	59.2
処理区	240	234	5	2.5

第 III 表

試験区別	調査項目 反收換 算量目	同左 100分比	反收換算 賠償金	同左 100分比
			(円)	
無処理区	(kg) 123.4	100	19,110.70	100
処理区	201.6	163.5	39,937.50	161.9